

平成29年3月15日

—青の交響曲（シンフォニー）運行に合わせて新たな観光資源を創出— 吉野線に17,000本の樹木を植樹しました ～吉野線をアジサイやモミジなど季節の花で華やかに～

近鉄では、南大阪線・吉野線観光特急「青の交響曲（シンフォニー）」の運行開始にあわせ、新たな観光資源を創出するため、昨年から吉野線を紅葉や季節の花で華やかに彩る「吉野線 華（はな）いっぱい計画」に取り組んでいます。今回は、平成29年1月から3月にかけて合計約7,000本の植樹を実施しました。

沿線の景観整備を図り、鉄道での旅のおもてなしと四季折々の風情を提供したいと考えています。詳細は以下のとおりです。

「吉野線 華（はな）いっぱい計画」

吉野線の吉野駅～飛鳥駅間において、モミジ・アジサイ・ユキヤナギ等の植樹を進めています。

今回は、合計約7,000本植樹し、前回と合わせて約17,000本の樹木等を植樹しました。

特に福神駅から薬水駅の間は、昨年と合わせ870本のモミジを約1 kmに亘って植樹し、新たなモミジの名所を目指しています。

昨年は、壱阪山駅、福神駅のアジサイが色とりどりに咲きほころび、お客様の目を楽しませました。

（今回の主な植樹）

場所	主な樹木等 ()内は本数
吉野駅	アジサイ(6)
吉野神宮駅	モミジ(17)、ニシキギ(740)、アジサイ(1,020)
大和上市駅	カキノキ(3)
福神駅	ナシノキ(2)、モミジ(120)、アジサイ(1,500)
福神駅～薬水駅間	モミジ(180)
壱阪山駅	ユキヤナギ(1,100)
飛鳥駅	ヒガンバナ(750)、スイセン(750)、ビョウヤナギ(570)



福神駅（アジサイ）
昨年6月



薬水駅～福神駅間（モミジ植樹）